

[成果情報名]紫外線カットフィルム展張によるナス育苗ハウスのミナミキイロアザミウマ密度抑制効果

[要約]促成栽培ナスの育苗ハウスにおける、紫外線カットフィルムの展張は、ミナミキイロアザミウマの侵入を抑制し、育苗期間を通じて低密度に管理できる。

[キーワード]ナス育苗、紫外線カットフィルム、ミナミキイロアザミウマ

[研究所名]岡山農総セ・農研・病虫研究室

[代表連絡先]電話 086-955-0543

[区分]近畿中国四国農業・生産環境（病害虫）

[分類]技術・参考

---

### [背景・ねらい]

促成栽培ナスでは、ミナミキイロアザミウマは育苗ハウスにおいて、ナスの株上に定着、増殖しており、定植による本圃への持ち込みが問題となっている。現地の育苗ハウスでは、防虫ネットと農薬散布によって対応しているが、抑えきれしていない。そこで、これまでの防除体系に加えて、育苗ハウスにおける紫外線カットフィルム展張によるミナミキイロアザミウマの防除効果を明らかにする。

### [成果の内容・特徴]

1. 雨除け育苗ハウス（サイドに1mm目合いの防虫ネット展張）に紫外線カットフィルム（UVカットPOムテキ、厚さ0.1mm、MKVプラテック製、苗の位置の紫外線カット率約50%）を展張すると、ミナミキイロアザミウマ個体数は、ハウス外では慣行ハウスより多い条件（データ省略）であったが、ハウス内のナス苗上に生息するミナミキイロアザミウマは、育苗期間を通じて少なく推移する（図1）。
2. 紫外線カットハウスで生育した苗は、慣行ハウスに比べてやや徒長気味に生育する（表1）が、本圃定植後の生育に問題はない（表2）。

### [成果の活用面・留意点]

1. ミナミキイロアザミウマのナス苗定着後の増殖は抑制できないので、補完的に育苗ハウス開口部へ防虫ネット（1mm目合）を展張するとともに、発生した場合は、農薬による防除を徹底する。

[具体的データ]

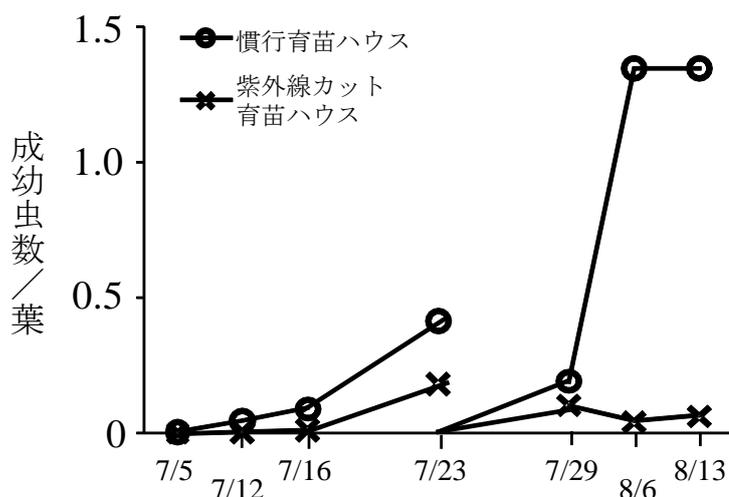


図1 育苗ハウスにおけるミナミキイロアザミウマに対する紫外線カットフィルムの防除効果

注1) 試験実施年次：2010年、品種：千両（台木：台太郎）

注2) 試験区：慣行育苗ハウス；農薬散布 + 防虫ネット（1mm）

紫外線カット育苗ハウス；農薬散布 + 防虫ネット（1mm）+ 紫外線カットフィルム展張

注3) 農薬散布履歴：7/23トレボン乳剤、カスケード乳剤、7/31アドマイヤー1粒剤

注4) 各ハウス3カ所、1カ所につき40株を選び上位2～4葉を調査。

7/16～7/23の期間は育苗ハウスから接木ハウスに移して両区を一括管理した。

7/23は追跡調査値。7/23に再び試験区に戻し、その時点でアザミウマを潰してリセットした。

表1 紫外線カットフィルム展張によるナス苗への影響（8月13日調査）

| 区名               | 調査株数 | 草丈 <sup>z</sup><br>(cm) | 葉長 <sup>z</sup><br>(cm) | SPAD値 <sup>z</sup> |
|------------------|------|-------------------------|-------------------------|--------------------|
| 慣行ハウス            | 30   | 22.4                    | 11.0                    | 42.8               |
| 紫外線カットハウス        | 30   | 24.5                    | 12.4                    | 41.4               |
| 有意性 <sup>y</sup> |      | *                       | *                       | ns                 |

z) 値は平均値

y) t検定による、\*：5%水準で有意差がある、ns：有意差がない

表2 紫外線カットフィルム展張条件下で栽培したナス苗の本圃定植68日後の生育

| 区名               | 調査株数 | 第1分枝<br>節位高 <sup>z</sup><br>(cm) | 主枝の<br>節間長 <sup>z</sup><br>(cm) | 主枝径 <sup>z</sup><br>(mm) |
|------------------|------|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 慣行ハウス            | 10   | 16.6                             | 12.7                            | 13.8                     |
| 紫外線カットハウス        | 10   | 17.5                             | 13.1                            | 14.5                     |
| 有意性 <sup>y</sup> |      | ns                               | ns                              | ns                       |

z) 値は平均値

y) t検定による、\*：5%水準で有意差がある、ns：有意差がない

(西 優輔)

[その他]

研究課題名：促成栽培ナスにおける難防除病害虫の減農薬防除体系の確立

予算区分：交付金（病害虫防除農業環境リスク低減技術確立）

研究期間：2010～2011年度

研究担当者：西 優輔